

4月

ラビット通信

こんにちは！ようやく春になりますね。

この辺りは少し歩くだけでお花見気分になれるので嬉しくなります。

今はまだ上野辺りに行くのは考えてしまいますからね。

でも近所でこれだけ見られるなら、私は充分満足です。

ちなみに最近では皆さん散歩されて頑張っている方が多く頭が下がる思いですが、時々頑張りすぎてケガの話も伺います。

歩くときは遠くまで一周するよりは、近くのコースを2周、3周としてその日の体調や足、腰の具合に合わせて「今日は2周でいい」とすぐに止めることができるようにすることがいいそうです。

無理せず楽しんで下さいね。



お花見に欠かせないのがもう一つ。

左の日本酒をご存じですか？

「人生を変える」と言われる日本酒で高価格でありながら、2020年春の醸造分は販売1ヶ月も経たずに完売。その後再開時にもわずか3日で完売という伝説まで持っているそうです。

市場にほとんど出ないそうですが、とにかく美味で白桃に例えられているそうです。下戸ではありますが、ぜひ一度味わってみたいものです。世界で取り合いをしているようなので、無理そうではありますが、空想を広げて楽しんでいきます。

来年こそは、本物のお花見をしたいですね。



補聴器のラビット



埼玉県狭山市狭山台1-18-11 ☎04-2001-9144

コロナは内耳の機能に影響を及ぼすという結果が出始めています

また、コロナ治療薬にも潜在的耳毒性があります

コロナウイルス感染症の特徴的な症状は、低酸素(血中酸素濃度が低い)と持続的な低換気(呼吸困難)の2つがあります。簡単に言えば内耳が適切に機能するためには血液中の酸素が必要です。

実際、内耳の虚血(血液供給量の低下)は、難聴、バランス/めまい/平衡感覚障害、耳鳴りなど多くの症状の原因となります。したがって、低酸素状態と症状のあるコロナウイルス患者の難聴とを関連付ける研究が出始めているのは当然の事といえます。

また、コロナウイルス治療において有望な結果を示した最近開発された抗ウイルス薬の中には難聴の原因となる、耳毒性(耳の神経に毒性を及ぼす)危険性のあるものがあります。レムテシビルとファビピラビルはともに抗ウイルス薬のアデノシンヌクレオチド類似体であり、耳毒性と耳鳴りの発症の副作用の危険性が報告されています。

現在すでにアメリカで5千人以上がワクチン接種を実施していますが、今のところ副作用として耳に関連した研究は発表されていません。ですが、まだ発展途上の研究なので油断は禁物です。

今月も補聴器クリーニング致します

電話予約 04-2001-9144

(営業時間10時~17時) 定休日 木・日・祝

皆様の健康の為、十分な対策をとっていき所存です。
お手数ですが、予約のご協力をよろしくお願い致します。

最近、補聴器の中を拝見しますと 湿気がとれておらず水が残っていることがあります。いわゆる結露なのですが、汗と共に錆の原因となりますので乾燥剤のチェックをお勧めいたします。わからない方はドライケースをご持参ください。